

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	6月	24日	記入者	鈴木英一
調査者名	小倉	亀田	久門	鈴木	

調査対象先	中家住宅				
所在地	五條市五條1-9-25			電話番号	
代表者 調査対応者	中 純宏さん				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	昭和34年以来修理をしていないので、現在、耐震も含めて全面的改修の話し合いを市及び県と行っている。
	要望	なるべく早く改修したい。

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	耐震と同じく防火対策も同時に実施したい。
	要望	元禄時代の大火後、宝永元年(1704)に再建。当時の防火対策工事の痕跡がみられる。①道路側は全面的に開口部がない②軒先に防火板を吊すフックがある③出入口は吊り挙げ戸で二重構造。

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	中家住宅
-------	------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	過去に羽アリやスズメバチの被害があったが最近はない。
③ 今後	今後の予定、要望	なし。

道路面は全面漆喰で塗り固めている



吊り上げ戸

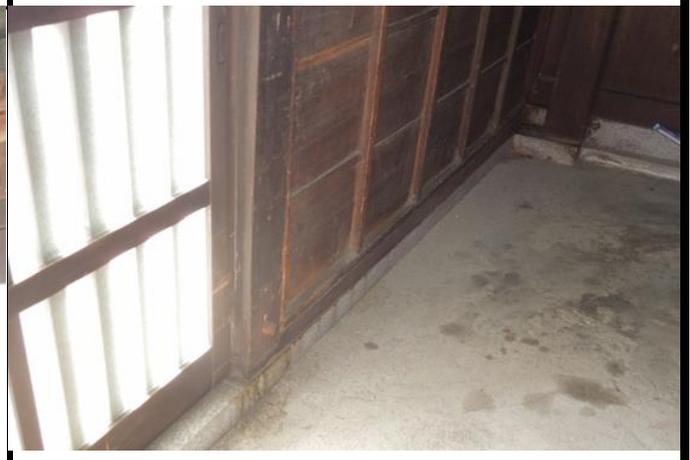
防火板を止めるフックがある



左のガラス戸を吊り上げ戸で二重にする



消火器



【調査票記入者(鈴木英一)の感想】



宝永元年(1704年)再建、当時の防火構造を確認できる。